



はじめに

五島市長 野口市太郎

カネミ油症事件発覚から平成30年10月で50年が過ぎ、同年11月17日、「カネミ油症事件発生50年記念行事」が開催されました。カネミ油症が確認されてから50年の節目を迎えるにあたり、油症の経験を次世代に伝え、課題を共に考えることを目的に開催されたものです。市内外から約200名の方々が参加され、第1部の記念式典では、半世紀にわたる油症の苦難を振り返り、第2部では、「油症の経験を未来につなぐ集い」と題して、4つの分科会において、被害者の認定制度の在り方や次世代を含めた未認定問題、次世代への継承などについて意見交換が行われました。

今回の記念誌の発刊にあたりましては、被害者の方に、この半世紀の苦難の体験や思いなどを綴っていただきました。また、支援者や研究者など関係者の方々に、さまざまな観点からご寄稿いただきました。ご多忙の中を快くご協力いただきました執筆者の皆様並びに座談会にご出席いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

関係の皆様方のお力添えにより、平成19年に「カネミ油症事件関係仮払金返済債権の免除についての特例に関する法律」が成立し、長年、仮払金返済問題に苦しんできた被害者には、大きな救いとなりました。平成24年に成立した「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」では、同居家族を油症患者とみなす新しい基準や、国からの健康調査支援金、カネミ倉庫からの一時金など、被害者救済に大きな進展がありました。改めまして、関係の皆様方の多大なるご尽力に対し、厚く御礼申し上げます。

事件発覚から半世紀が経過し、被害者の皆様が高齢化している中、多くの被害者が健康被害と生活上の困難や子や孫たちの将来への不安に苦しんでおります。有効な治療法の開発や認定制度のあり方、次世代を含めた未認定問題など、まだまだ解決されていない課題があります。

五島市におきましても、事件のことを知らない世代が増えてきております。今後、二度とこのようなことが繰り返されないためにも、カネミ油症の重大さを次の世代の皆様も含め、多くの皆様に伝えていくことは大変重要であり、そのような中で今回、50年を節目とした記念誌を発刊いたしました。

結びに、本誌によって、油症事件の現状を認識していただき、関心と理解を深めていただけるよう情報発信に努めるとともに、今後とも被害者やその家族の方々に寄り添いながら、しっかりと支援してまいりますことを申し上げご挨拶いたします。

令和2年3月